

11/25

モンゴル日本語学級とオンライン交流授業

日南小学校5・6年生とモンゴル・ゾーンモド市の日本語学級の生徒との交流授業がオンラインで行われました。はじめに町交流支援員のエレデネジャブ・ノミンさんが11月にモンゴルで撮影した写真を見せ、モンゴルの街や小学校、日本語学級の様子などについて日南小の児童に紹介し、日南小の児童が作成した動画を流して日本語学級の生徒たちに日南小のことを紹介しました。その後、子どもたちがお互いに質問しあい、「普段何を食べていますか（日南小の児童から）」「夏はプールの授業がありますか（日本語学級の生徒から）」などといった質問が次々に出ていました。子どもたちは交流授業を楽しんだ様子で、「またやりたい」と話していました。



11/22

おいしい鳥取和牛を召し上がれ！

10月に鹿児島県で開催された第12回全国和牛能力共進会への日南町からの出品を記念し、日南小学校・日南中学校の給食で「鳥取和牛」のサイコロステーキが提供されました。同共進会に和牛を出品した山形美智也さん（上萩山）がこの事業にあわせて招かれ、「子どもたちに畜産業について興味を持ってもらいたい。和牛には全国的にいろいろなブランドがあるが、『鳥取和牛』の知名度を上げ、広めていきたい」と話しました。



12/1

民生児童委員さんへ感謝状贈呈

令和4年11月末をもって退任した民生児童委員のみなさんへ、町長・厚生労働大臣・鳥取県知事からの感謝状を丸山副町長からそれぞれ伝達しました。委員のみなさんは感謝状を手渡された後、それぞれが退任にあたっての一言を話しました。長きにわたり委員を務めた相見邦昭さん（神戸上）は「親身



になって、優しい心で地域の方に接してほしい。人の痛みがわかる人であってほしい」と話していました。今回退任した委員のみなさんは右のとおりです。みなさん長い間ありがとうございました。

	担当地区	在任期間
相見 邦昭	神戸上	12年7月
入澤 眞澄	矢戸	12年
伊田 史昭	丸山	12年
足羽 邦穂	霞	9年
毛利 朱美	生山下	9年
田中 貞美	新屋	9年
上田 正志	中石見	9年
福田可也乃	生山上	6年
川村 建二	下石見	6年

（敬称略）

J-クレジット売買契約

森林等の二酸化炭素の削減量・吸収量を認定し売買を可能としたJ-クレジットは、令和4年度も多くの企業にご購入いただいています。8月から11月までの間に、以下のとおり20件の契約（232トン・204万円）が行われました。



8月2日	(有)岩崎塗装店	10月6日	(株)川田建設
8月9日	(株)ヨシケイ山陰	10月14日	(株)内田スプリング製作所
8月17日	(有)ケイ・エス・エンタープライズ	10月14日	(株)内田スプリング大山工場
8月23日	(有)三翔	11月2日	カルネコ(株) (SBパワー(株))
8月25日	(株)大丸水機	11月14日	(株)ワーパス
9月6日	(有)東亜産業	11月15日	(株)竜建
9月21日	(有)笹間建材店	11月15日	(株)佐伯建設
9月22日	(株)モチダ	11月15日	中村建設(有)
9月28日	(有)福岡組	11月21日	スリーエステクノ(株)
9月29日	Sustineri(株)	11月21日	TOMONARI(株)

（敬称略）

各地域で文化祭

11月3日から11月13日までの間、町内4地域で文化祭が行われました。作品展示やステージ発表、野菜等の販売、カフェ、ニュースポーツ体験など、それぞれの地域で工夫を凝らした企画が催され、訪れた人を楽しませていました。コロナ禍の影響で催し物が開催しづらい状況が続いていた中、地域のみなさんの貴重な集いの場となりました。

写真 左上：山上（コーヒー豆つかみ競争）  
 写真 左下：阿毘縁（作品展示）  
 写真 右上：福栄（ニュースポーツ体験）  
 写真 右下：多里（野菜等の販売）



11/19-20 Minecraft で遊び、学び、日南町の未来を考える

2日間にわたり、教育版Minecraftを活用したワークショップを行いました。「Minecraft」とは、さまざまな種類の「ブロック」を使って、建物や庭園、オブジェなどを作ったり、作った建物の中を自由に歩き回ったりすることができ、「デジタルなもののづくりで自分の世界を表現する」ことができるゲームです。ワークショップの講師には、アジア・日本で初のプロマイクラフターであり「マイクラおじさん」でおなじみのタツナミシユウイチさんをお招きしました。

ワークショップではSDGsやプログラミングを学びながら、町の抱える課題や社会課題について理解を深めました。子どもたちはグループでアイデアを出し合い、Minecraft内でそれぞれが理想とする未来の日南町を表現しました。でき上がった未来の日南町には、廃材を利用した宿泊施設や体験型の農園・牧場、オオサンショウウオが観察できるジェットコースターや、ワークショップで学んだプログラミングを生かし全自動で農作物を回収するロボットなどもありました。デジタルなもののづくりを通して、子どもたちのたくさんの個性が光るイベントとなりました。



ワークショップで学んだプログラミングを生かし全自動で農作物を回収するロボットなどもありました。デジタルなもののづくりを通して、子どもたちのたくさんの個性が光るイベントとなりました。

11/14 ごうぎん生山出張所 役場内に移転オープン

山陰合同銀行は、生山出張所を日南町役場庁舎内に移転し営業を開始しました。オープン初日にはセレモニーが行われ、同行米子営業本部の吉岡佐和子部長や中村町長、山本議長らがテープカットを行いました。



同行生山出張所の三浦秀賢所長は、「役場に移転したことでお客様の利便性も上がると思う。役場の手続きと合わせて利用してもらえれば」と話しました。

11/14 元助役・山浦久さんが叙勲受章

平成2年から平成10年まで日南町の助役を務めた山浦久さん（笠木）が、令和4年10月1日付の高齢者叙勲で瑞宝双光章を受章しました。この日は中村町長から山浦さんへ、勲章と勲記の伝達が行われました。



山浦さんは町職員として昭和28年から昭和61年まで33年在職し、退職後、教育長、助役を歴任され、町政の発展に多大な貢献をされました。

11/21-22

地元の食を知ろう！学ぼう！

日南町食育推進協議会（七瀬寿恵会長）が、日南小学校で「地元の食」についての授業を行いました。授業は学年別にテーマを分けて実施され、2年生の授業では日南町の特産品・ピーマンについて推進員の古都由利子さん（福寿実）から講義がありました。古都さんは、ピーマンにはビタミンが豊富に含まれていることや、日南町でピーマンが多く栽培されている理由などを児童たちに説明しました。ピーマンといえば子どもが苦手なイメージが一般的ですが、2年生にはピーマンが好きという児童が多く、おいしく食べているとハキハキ話していました。

